

進む禁煙・分煙対策

『ひろしま健康ネット』で店舗を紹介

<http://kenkou-net.pref.hiroshima.lg.jp/modules/ouenten/>

③吸わない人の健康を守る

とが客観的指標を用いた研究でわかってい

受動喫煙は、がん、心筋梗塞、脳卒中や動脈硬化、気管支喘息などのリスクを高めます。また、おなかの中にいる胎児や、出生後の乳幼児への影響も大きく、低出生体重や乳幼児突然死症候群を引き起こすとされています。

平成15年に発効した「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」などを背景に、公共施設や職場等における受動喫煙防止措置が求められており、国においては、平成22年に「多数の者が利用する公共的な空間は、原則として全面禁煙であるべきこと」を示しています。

本県においては、県市町の庁舎等施設、学校及び病院の96%(平成24年)で禁煙・分煙対策が講じられています。飲食店等の中小事業所では進んでいない状況です。

受動喫煙とは、たばこを吸わない人がたばこの煙を吸わされることを言います。煙に含まれるさまざまな有害物質は、喫煙者が肺に吸い込む主流煙よりも、副流煙に多く含まれます。「別室で吸う」「換気する」「空気清浄器」などの分煙では、受動喫煙を減らせないこ

親の喫煙による影響

病気・状況	親の喫煙による影響
自然流産	1.1～2.2倍
乳幼児突然死	4.7倍
低出生体重	1.2～1.6倍
むし歯	2倍
肺炎・気管支炎	1.5～2.5倍
気管支喘息	1.5倍
せき・たん	1.4倍
中耳炎	1.2～1.6倍
呼吸機能低下	肺活量低下

康生活応援店」として認証しています。健康生活応援店に関する情報は、「ひろしま健康ネット」をご覧ください。

たばこを吸う人はもちろん、たばこを吸わない人もたばこの害をよく知り、受動喫煙の防

今度こそ! 今度こそ!! 今度こそ!!! 禁煙

『今度こそ、やめたい』と思っている あなた!

禁煙宣言1万人キャンペーン 2nd 参加募集中!

申込金が無料になりました!【ご応募はこちら】

走り続ける
認証施設

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施中。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

③ 藤い屋



認証日:平成18年8月2日
所在地:廿日市市宮島町480(本店工場)
広島市西区中広町3-12-5 (広島支店工場)
創業:大正14年
話し手:代表取締役社長 藤井 嘉人氏(左)
第一種衛生管理者 後小路 俊英氏(右)

現在ではトップダウンからボトムアップの衛生管理手法が定着するなど、現場で目標を見つければ、自らが解決する仕組みを通じて、社内の連帯感が強くなったと感じています。

手順はもちろん、現場で起こるイレギュラーな事態にも対応できる危険予測など、現場からの声を大切にしています。東北地方太平洋沖地震以降、弊社では、社員の自発的行動から工場

の省エネが推進され、光熱費の削減に成功しています。このように、さまざまな分野で社員がもっとうまくできないかと考えたことが形になって現れています。

ボトムアップの衛生管理手法定着
愛され続ける「もみじまんじゅう」製造へ

業務内容
菓子の製造販売。「もみじまんじゅう」を代表とする和菓子やせんべいの製造を行っています。

■認証取得の効果

当初打ち立てたマニュアルを忠実に守ることはもちろん、これに満足することなく、各部署で目標を定め、社員が実

施することで衛生管理に努めています。

認証を取得する以前と現在では、製造過程におけるミスクレームが減少していると感じています。また、認証を得て8年が経過し、

改善策を提案実行するシステム

社員でグループをつくり、工場内の問題点を洗い出し、そして改善へ繋げる「職場環境改善計画」を実施しています。職場の導線や作業

■今後のステップアップ

既存のシステムの継続発展を考えていま

このよう

弊社は、大正時代から「もみじまんじゅう」を作り続けており、これからも皆さまに愛され続けるよう一生懸命作り続けてまいります。

インタビュー:中川 記事:馬場田



健康生活応援店ステッカー

止を進め、たばこのない毎日をはじめましょう。

人間ドック
がん検診を知る

③ 乳がん

乳がんは、日本女性が患うがんでもっとも多く(罹患数1位・死亡数5位)、近年増加傾向にあり、検診の有効性が世界各国で証明されています。乳がん検診の受診率が70%以上のアメリカでは、乳がんによる死亡数が減少しています(日本の受診率は30%程度)。

乳がん検診では、一般的に問診のあと視触診、マンモグラフィー、乳腺エコーなどの検査を行います。マンモグラフィーは乳房専用のX線検査です。圧迫板で乳房を挟み、薄く均一に引き伸ばして撮影します。強く挟むので痛みを伴いますが、触診では分からない小さなしこりや微細ながんの早期発見には欠かせない検査です。

マンモグラフィーで見つかる主な病変は、腫瘍(しこり)や石灰化です。これらはその形、分布の形状などによりカテゴリー分

穿刺吸引細胞診や針生検などが疑わしい病変の部位や悪性の可能性の有無により選択されます。

『精密検査』と聞くと躊躇してしまいがちですが、その検査でがんが見つかる確率は約2～5%です。乳

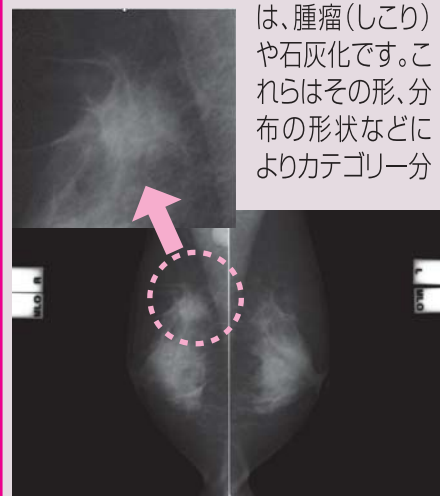
がんは1つのがん細胞が1cmになるのに15年以上かかりますが、1cmのがんが2cmになるには2年かかりません。早期の乳がんは2cm以下を指しますので、早期に発見するには2年に1度は検診を受ける必要があるといえます。

市町では、対象者に無料で乳がん検診が受診できるクーポンを配布しているところもあります。そういったツールも活用していただき、『定期的に検診を受けること』をぜひ心がけてください。

(ドック課 富士田 綾子)

乳房専用のX線検査

マンモグラフィーを受けよう



マンモグラフィーで撮影した乳がんの症例

	マンモグラフィー	乳腺エコー
撮影範囲	乳房全体を描出	乳房の部分的な情報を描出
しこり	乳腺が発達していると描出困難の場合あり	乳腺と乳がんのしこりの判別が容易
石灰化	微細石灰化(0.1～0.5mm)が描出できる	微細石灰化は描出困難